

分野	専門分野Ⅱ —精神看護学—	対象学年	2
		時期	後期
授業科目	精神看護実践論Ⅲ Psychiatric and Mental Health Nursing PracticeⅢ	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	精神に障害のある人と家族について理解し、地域社会においての生活を目指した看護の知識と技術を学ぶ。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神科における対象の特徴を理解する。</li> <li>2. 精神における治療的環境について理解する。</li> <li>3. 精神症状、疾患を持つ対象への看護を理解する。</li> <li>4. 精神科医療におけるリスクマネジメントについて理解する。</li> <li>5. 地域生活を支える援助について理解する。</li> <li>6. 精神看護について考え、倫理観を深めようとする態度を養う。</li> </ol>		
評価方法	終講試験 90点 演習 10点		
使用テキスト	系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学【1】精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学【2】精神看護の展開 医学書院 系統看護学講座 別冊 精神保健福祉 医学書院 オレムのセルフケアモデル 事例を用いた看護過程の展開第2版 ニューベルヒロカワ		
参考図書	これだけは知っておきたい精神科の身体ケア技術 医学書院		
メッセージ	概論、実践論ⅠⅡの学習内容を活用して取り組みましょう。 質問や相談がある場合は遠慮せずに声をかけてください。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	ケアの原則・ケアの方法	感情を手がかりにして自分を知り相手を理解することがケアの人間関係のもとになることを理解する	ケアの原則 人としての尊厳を尊重する 互いの境界をまもる 応答性を保つ・現実検討をする ケアの方法 そばにいてこと・自分自身であること	講義	
2	患者の回復につながる治療的環境	治療的環境とはどういうものかを理解し、患者の回復を促す治療的環境をつくり出すために看護師に求められることはなにかを理解する	治療と環境 治療的環境の要件 治療的環境と看護師	講義	
3	精神症状の把握と対象の観察	精神症状の把握、対象の観察とアセスメントを理解する	精神症状の把握 対象の観察とアセスメント	講義	
4	患者—看護師関係で起こること	共感、拒絶、攻撃、転移、操作、多訴など精神科病棟で日常的にみられる患者—看護師関係のできごとと対処を理解する	共感、拒絶、攻撃の対象 転移・逆転 操作される、訴えにふりまわされる チームのダイナミクス	講義	
5	各症状の看護	精神疾患の各症状の看護を理解する	幻覚・妄想状態の看護 うつ状態の看護 躁状態の看護	講義	
6	各疾患患者の看護	代表的な精神疾患の各病期における看護を理解する	統合失調患者の看護 気分障害患者の看護	講義	

7	安全をまもる	精神科医療における安全の基本的な考え方を知り、患者の安全をまもるためのリスクマネジメントについて理解する	安全の条件 リスクマネジメントと行動制限 行動制限を行う場合のケアプラン	講義	
8	緊急事態に対処する	自殺、暴力、無断離院の3つの事態を中心として、緊急事態にどう対処すべきかを、予防に重点をおいて理解する	自殺 暴力 無断離院 緊急事態とスタッフのサポート	講義	
9	精神の治療と身体ケア	1.身体ケアが心のケアにもなることを理解する 2.抗精神病薬の有害反応を知り、その予防・対処法、電気痙攣療法時の看護を理解する。	精神科における身体ケア 薬物療法における看護 電気痙攣療法の看護	講義	
10	治癒と回復	精神疾患、精神障害の回復とはどのようなものかを知り、回復の過程、回復を支えるさまざまな方法、回復のために必要なことを理解する	治癒と回復 精神科におけるリハビリテーション 回復を支えるさまざまな方法 地域における精神看護 家族への援助と家族心理教育	講義	
11	地域生活を支える援助	1.精神障害者が安定した地域生活を継続するために援助者が心得ておくべき原則を学ぶ 2.生活を支える社会制度とその基盤となる考え方を理解する	精神障害者が街で暮らすために 地域で生活するための原則 生活を支える精神保健福祉の制度	講義	
12	オレム-アンダーウッドのセルフケアモデル	オレム-アンダーウッドのセルフケアモデルを理解する	オレムのセルフケア理論 オレム-アンダーウッドのセルフケアモデル	講義 GW	
13	オレム-アンダーウッドのセルフケアモデルを用いた看護過程の展開	事例を使用しオレム-アンダーウッドのセルフケアモデルを用いた看護過程の展開を理解する	セルフケアの視点でアセスメント 生活のしにくさと自我機能、発達段階の考え方 セルフケアレベルの判断	講義 GW	
14	オレム-アンダーウッドのセルフケアモデルを用いた看護過程の展開	事例を使用しオレム-アンダーウッドのセルフケアモデルを用いた看護過程の展開を理解する	対象にとっての必要な看護と優先度の考え方 看護の方向性の明確化 現在のセルフケアの状態とその誘因	講義 GW	
15			終講試験		